

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-THE

© 2007 Sony Corporation Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する

変な音やにおいがいたら、煙が出たら

① 電源を切る
② ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

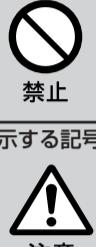
警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



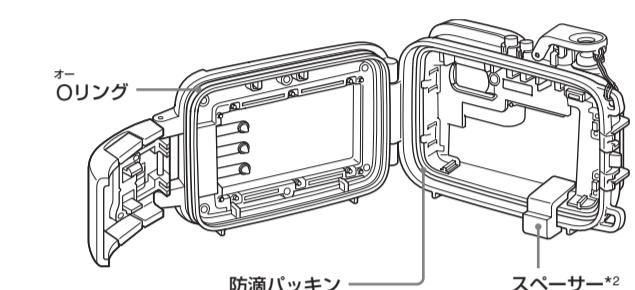
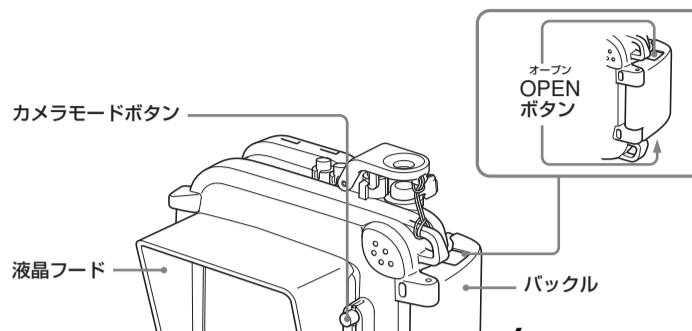
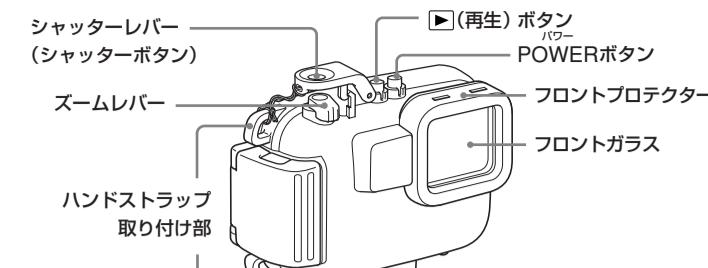
禁止

行為を指示する記号



注意

各部の名前

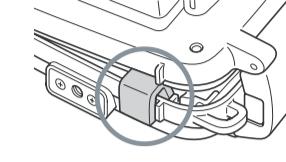


お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、パックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂を落としてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
 - サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
 - マリンパック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。
- 上記のお手入れはマリンパックをご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。パックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脑などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

アタッチメント保管について

アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

主な仕様

材質

プラスチック (PC、ABS)、ガラス

防水構造

Oリング、パックル

耐圧

水深40 mまで

外部より操作可能なスイッチ

POWER (パワー)、シャッター、再生、ズーム (W/T)、カメラモード、フラッシュ、マクロ

外形寸法 (最大突起部を除く)

約141×110×60 mm (幅／高さ／奥行き)

質量

約370 g (本体のみ)

同梱物

- マリンパック (1)
 - ハンドストラップ (1)
 - 液晶フード (1)
 - アタッチメントA (DSC-T200用) (1) *
 - アタッチメントB (DSC-T75/T70用) (1)
 - アタッチメントC (DSC-T75/T70用) (1)
- *お買い上げ時にマリンパックに装着されています。
グリス (1)
Oリング (1)
スペーサー (1)
印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています

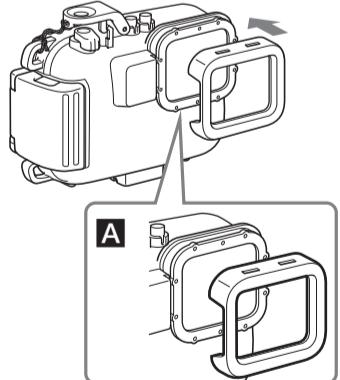
付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MPK-THE
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日



Oリングと防滴パッキンの耐用年数

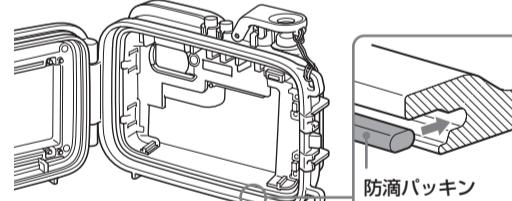
Oリング

マリンパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン

防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はみ込みは水漏れの原因となります。

万一、防滴パッキンがはずされた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



Oリングと防滴パッキンの耐用年数

Oリング

マリンパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン

防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

マリンパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、マリンパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一本体内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
デジタルスチルカメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止め効果について

フロントガラス面は、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、デジタルスチルカメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

別売アクセサリー

カラーフィルター : VF-MPTA

アームキット : VCT-MP1K

水中ビデオライト : HVL-ML20M

(アームキットVCT-MP1K、“インフォリーチュウム”(Mシリーズ)バッテリー、(バッテリーチャージャー)との併用が必要です。)

Oリングキット : ACC-MP105

*Oリング、グリスは下記の相談窓口でもお求めになります。

Oリング、防滴パッキン、グリスについて

ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。

ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。

Oリング (番号3-080-065-11)

防滴パッキン (番号3-099-284-01)

グリス (番号2-582-620-01)

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口 0120-333-020

携帯電話・PHS一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口 0120-222-330

携帯電話・PHS一部のIP電話 0466-31-2531

*取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

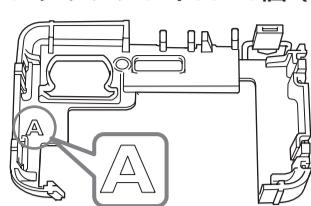
FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金9:00～20:00 土・祝9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

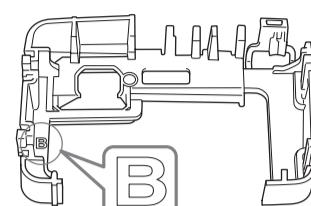
準備

アタッチメント形状

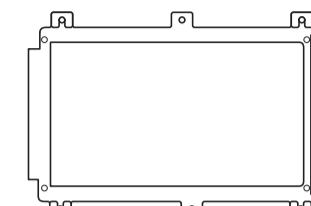
アタッチメントA 1個 (DSC-T200用)



アタッチメントB 1個
(DSC-T75/T70用)



アタッチメントリア 1個
(DSC-T75/T70用)

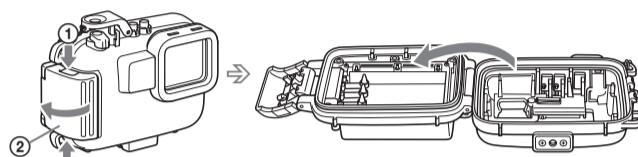


マリンパックの準備

アタッチメントを取り換える (DSC-T75/T70をお使いのかたのみ)

*お買い上げ時は、DSC-T200用にアタッチメントAを取り付けてありますので、DSC-T200をお使いのかたは以下の手順は不要です。

1 マリンパックを開ける。



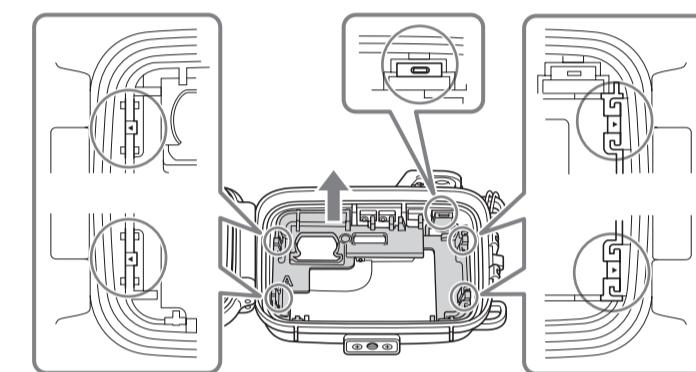
上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはすし、マリンパックのボディーを開く。

ご注意

スペーサーは、マリンパックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

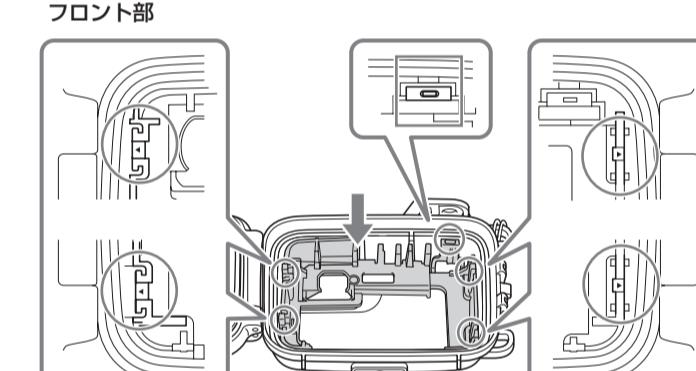
2 アタッチメントを取り換える

●DSC-T200用のアタッチメントAを取りはずす



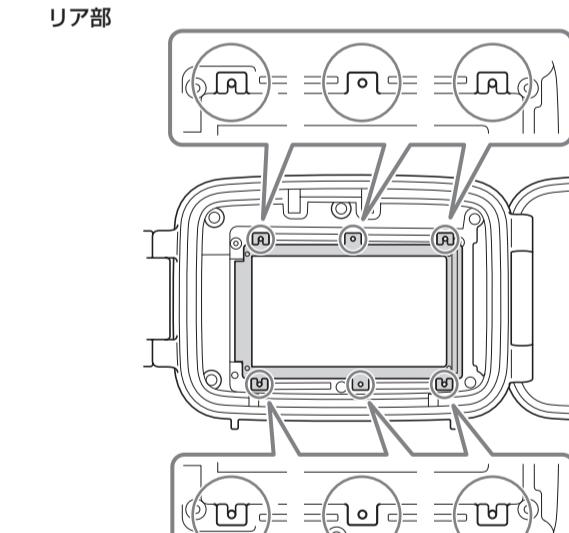
図の○印部分を持って、垂直に引き上げる

●DSC-T75/T70用のアタッチメントB、アタッチメントリアを取り付ける



図の○印位置をしっかりと押し込んでください
ズーム部分(□部)の凸部にしっかりとはめ込んでください。アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。

リア部



図の○印位置をしっかりと押し込んでください
アタッチメント交換後、ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

Oリングと防滴パッキンの準備

1 Oリングを取りはずす。

2 Oリングにグリスを塗る。

Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 Oリングを取り付ける。

防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

・防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。
・砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンパックの開閉は、マリンパック前部のくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。

2 バッテリー、“メモリースティック デュオ”を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。

充分に容量のある“メモリースティック デュオ”を入れてください。

3 レンズカバーを下げる、電源を入れる。

レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。

4 画面上のHOMEをタッチし、■(撮影)からオートにする。

シーンセレクションの各シーンや、プログラムオートも設定することができます。

5 ホームのカテゴリー内■(設定)をタッチし、ハウジングを「入」にする。

ハウジングが「入」になっていることを確認する。

- ・ハウジング「入」後は、静止画の設定変更をすることができません。
- ・設定後、デジタルスチルカメラの使える機能が制限されます。

外部ボタンと、液晶面の5つのボタンのみです。

「HOME」、「MENU」、「カラーモード」、「フラッシュ」、「マクロ」

・マリンパック取り付け後は、「HOME」、「MENU」ボタンは使用できません。

ハウジングの設定方法

- ① HOMEをタッチする
- ② カテゴリー内の■をタッチし、本体設定を選び「OK」をタッチする
- ③ ハウジングをタッチし「OK」、「入」を選び「BACK」をタッチする
- ④ ハウジングが「入」になっていることを確認し、「BACK」、「×」をタッチする
- ⑤ 画面上に■ハウジングが出ていることを確認する

6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

注意

AFイルミネーターは使用できません。

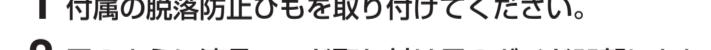
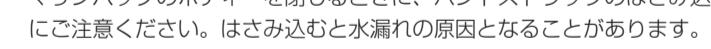
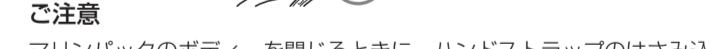
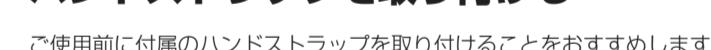
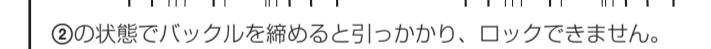
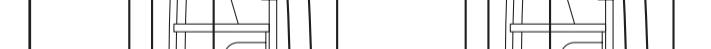
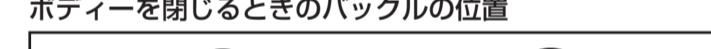
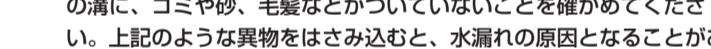
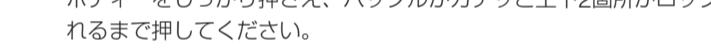
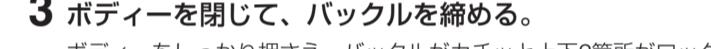
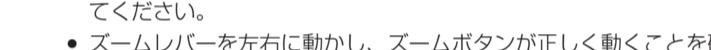
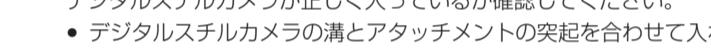
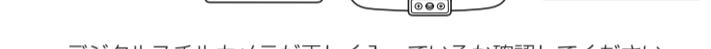
デジタルスチルカメラをマリンパックに取り付ける

1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンで電源「OFF」にする。

2 マリンパックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

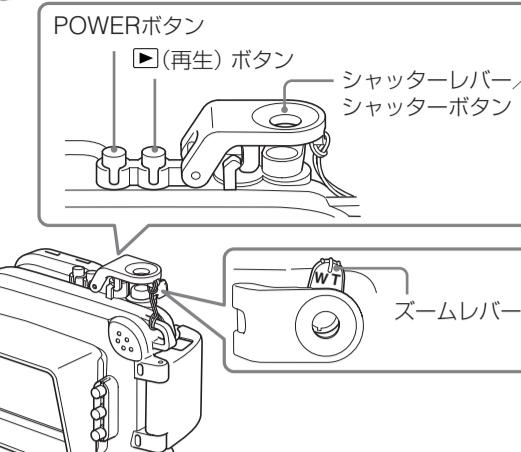
デジタルスチルカメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理にマリンパックを閉じようとするごとに故障の原因になります。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。

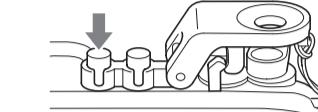


マリンパックを使う

撮影する

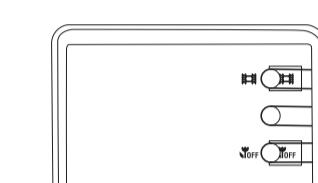


1 電源を入れる。



2 設定状態を表示する。

画面上のボタン（カメラモード、フラッシュ、マクロ）のいずれかを押すとタッチ1回目では現状の設定状態がボタンの左側に表示されます。このとき、表示が出るだけで設定内容は変更されません。
＊アイコン表示とタッチ位置がずれていますが、操作上問題ありません。

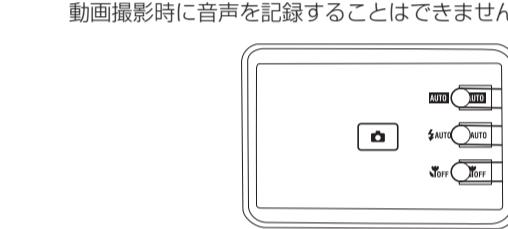


設定変更はこの表示が出ている間に、本機のボタンを押すことによって設定されます。

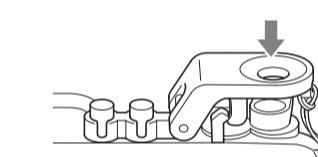
- ・表示はしばらくすると消えます。再度いずれかのボタンを押してください。

3 カメラモードで静止画／動画を選択する。

- ・静止画を撮影するとき：カメラモードボタンを押して静止画にする。設定したモードが表示されます。
- ・動画を撮影するとき：カメラモードボタンを押して「動画」にする。



4 シャッターレバー／シャッターボタンを押す。



ご注意

・水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。

・マリンパックでフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなることがあります。その際は、水中ビデオライト HVL-ML20M (別売) の使用をおおすすめします。

・デジタルスチルカメラの拡大鏡モードでは、マリンパック内のガラス面のはがりやゴミにピントが合うことがあります。その際、ガラス面のはがりやゴミを取り除いてください。

ズーム機能を使う

W側へ押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

T側へ押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

さまざまな機能を使う／設定をする

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。

カメラモード：静止画／動画

フラッシュ：(フラッシュ)

* 動画撮影のときは使用できません。

マクロ：マクロ撮影

カメラモード	静止画撮影	動画撮影
フラッシュ	AUTO → 強制発光 → スローシンクロ → 発光禁止	
マクロ	マクロ切 → マクロ入 → 拡大鏡入	

ご注意

撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

再生する

デジタルスチルカメラの■(再生)ボタン